



取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

機種名

PK-35S

マメトラ草刈機

マメトラ農機株式会社

はじめに

マメトラ草刈機をお買い上げいただき ありがとうございます。

この取扱説明書は「マメトラ 草刈機 PK-35S」の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。

製品を貸与される場合は、この取扱説明書を添付してお渡してください。取扱説明書を紛失、汚損された場合は当社または当社の特約店に連絡してください。

なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。


ご不明のことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお近くの特約店・販売店にご相談ください。


本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。


なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

◆注意表示について

本取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

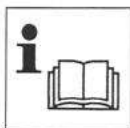
 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

安全作業のための心得

1 警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、誤使用による危険回避などを目的に本機及び取扱説明書に下記の表示をしております。これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

本機に使用の警告マークの意味について



○取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起さないように注意すること。



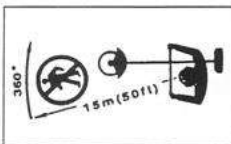
○取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意マークなどに従って安全に使用してください。



○保安帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など防護具を着用してください。



○切削物の飛散方向に注意してください。



○銼削機の作業員から15m以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないこと。
また、数台同時に作業するときもこの距離は守ってください。



○この商品にはニカド電池を使用しています。ニカド電池のリサイクルにご協力ください。
*本文中のバッテリーとはニカド電池のことです。

安全作業のための心得

2 畦刈機の安全使用のために

畦刈機を安全に使用するために、次の事項は必ず守ってください。



★飛散防護カバーは必ず取り付けること。



- ★畦刈機は雑草を刈るために設計、製造されています。その他の作業などには絶対使用しないでください。
- ★長袖、長ズボン、(ダブダブしない身体に合った、袖じまり、裾じまりの良いもの)を着用し、頭部にはヘルメット(JISなどの規格に合格した保安帽など)を着用するとともに、手袋、保護メガネを付け、足元保護のためすべりにくい安全靴をはいてください。(図1)
- ★ホコリの多い場所では防塵マスクを着用してください。
- ★疲れている時、身体の調子の悪い時、飲酒をしたり薬物を服用した時は使用しないでください。
- ★子供や取扱の指導を受けていない人には使用させないでください。
- ★畦刈機を初めて使う人に使わせる場合は事前に基本的な操作方法や安全な使い方を実際にやってみせること、と同時に必ず取扱説明書を付けること。
- ★夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- ★換気の悪い場所(屋内、トンネル内など)での作業はしないこと。(排気ガスは有害ですので直接吸わないでください。)(図2)
- ★警告表示マークが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告表示マークと取り替えてください。

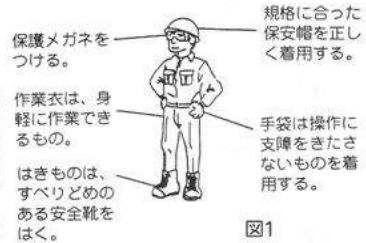


図1



図2

使用方法

1 使用前に

(1) 機械の点検


 危険	<ul style="list-style-type: none">★刃刃は、確実に取り付けられているか、損傷はないかを確認し、異常のないことを確認してから使用してください。★カットソーは消耗品です。異常のないことを必ず確認してから使用してください。損傷、摩耗等している場合は必ず交換してください。★飛散防護カバーは必ず取り付けてください。★燃料補給は、エンジンを停止し、エンジンが冷えていることを確認し、火気のない通気の良いところで行ってください。補給中に燃料をこぼした時は、引火のおそれがありますので、十分に拭き取ってください。(図1)★各部のゆるみがないか、グリス、燃料が入っているか、燃料漏れがないかを点検し、異常がないことを確認してから使用してください。★2サイクルエンジンですので、燃料はガソリン25に対し2サイクル専用オイル1の割合です。混合比を間違えるとエンジンが焼付や摩耗を起こしますので注意してください。(図2)
--	---



図1




図2

(2) 作業場所の点検

- ①空缶、針金、小石などの有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業をしてください。
- ②駐刈機の作業者から15m以内を危険区域とし、この中に作業者以外の人が入らないこと。
また、数台同時に作業するときこの距離は守ってください。

(3) エンジンの始動

 警告	<ul style="list-style-type: none">★エンジンを始動する時は、周囲(15m以内)に十分注意し、刈刃は地面に振れないようにしてください。★漏れた燃料への引火防止のため、燃料を入れた場所より3m以上離れた所で、エンジンを始動すること。★始動する時、スロットルはアイドリングの状態にしてください。★排気を吸わないように注意してください。★回転を上げる場合は急激に上げず徐々に回転を上げてください。回転はむやみに上げないでください。
--	--

使用方法

2 作業時

(1) 運 転



★回転中の刈刃は大変に危険です。絶対に触れてはいけません。触れると死傷することがあります。(図3)



- ★刈刃部に草などが巻き付いた場合は必ずエンジンを停止し、刈刃の停止を確認してから草などを取り除いてください。
- ★作業はゆとりをもって行ってください。
- ★エンジンの回転速度をむやみに上げず、メーカーの推奨する回転速度、毎分8000回転を守ってください。
- ★刈刃は必ずメーカー指定の純正品を使用してください。
- ★2人以上で作業する場合は呼び子などでの合図の方法をあらかじめ決めて、合図の徹底を図ってください。また、人と人の間は15mを保ってください。
- ★作業中に立ち話は絶対にしないでください。話をする時はエンジンを止めてください。
- ★電気ショックを受ける可能性がありますので、作業中は点火プラグキャップ部、高圧コードに触れないでください。
- ★やけど防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン本体、マフラー、特にテールパイプ(排気口)などに触れないでください。
- ★場所を移動する時、作業を中断する時は必ずエンジンを停止し、刈刃の停止を確認してから行ってください。

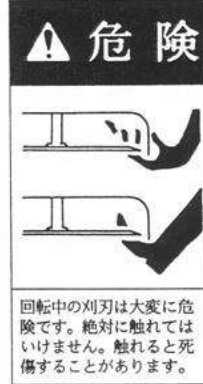


図3

本機の組立て

1 ナイロンコード出寸法の調整方法

オートナイロンカッターは、エンジンの排気量、出力の関係で、コードの出寸法が変わります。型式による標準のコード出寸法は右記の通りです。コードの出寸法がこの範囲外ですと切れ味が違います。その時は、以下の調整を行ってください。



- ★エンジン回転が低すぎるとコードが出ない場合があります。
- ★コード標準出寸法の範囲以上出して使用しないでください。クラッチケースが焼き付く場合があります。

- ①「ナイロンコードの交換」を参考にナイロンコードキャップをはずし、ナイロンコードリールとリールスプリング、ディスクを取り出します。
- ②ナイロンコードボディーの奥に、1、2、3の番号があります。(図1)
この番号はディスク受けて、各々の番号は高さが異なります。この高さの違いによりバネの強さが変わり、コードが出やすくなったり、出にくくなったりします。セット1番は出やすくなり、セット3番は出にくくなります。

※ディスクの標準セットは、ナイロンコードボディーのディスク受けの2番の位置ですので、ディスク2にセットしてください。(図1)

コード標準出寸法

エンジン	出寸法範囲
PK-35S	170mm

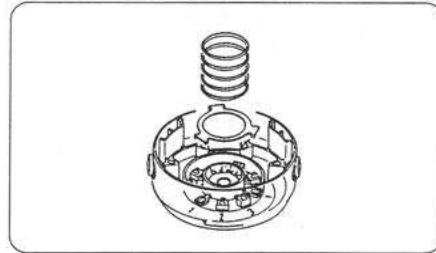


図1

本機の組立て

2 ナイロンコードの交換

ナイロンコードを使い切った時は以下の要領にて交換してください。必ず当社指定の純正ナイロンコードを使用してください。純正品以外のコードをご使用になるとコードの出が悪かったりして正常な使い方が出来ない場合があります。



★針金、ワイヤーロープは絶対に使用しないでください。針金やワイヤーロープを使用すると人に危害を与える事がありますので絶対に使用しないでください。

①ナイロンコードキャップをはずし、ナイロンコードリールをはずします。お手持ちのマイナスドライバーをナイロンコードボデーの溝から出ている爪の上に咬ませ、そのままドライバーを半回転回せばはずれます。(図2)



★キャップがはずれるとき、ボデーの中のバネ圧力で、キャップが飛び出すことがありますので、顔等に当たらない様にご注意ください。

②キャップをはずしたら、ナイロンコードボデーの中のナイロンコードリールを取り出し残っているナイロンコードを取り除きます。(図3)

③当社の純正ナイロンコードをコードの真ん中から約20cmずらして折り曲げます。折り曲げた部分をナイロンコードリールの仕切板の溝に引っ掛け、ナイロンコードリールのそれぞれの溝に一列に巻き込みます。(ナイロンコードリールに巻けるコードの最大長さはアカコード(φ2.7)で3.5mです。(図4,5)

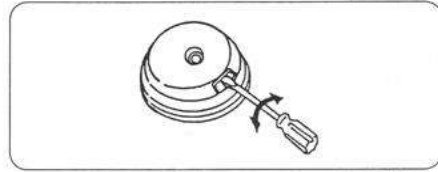


図2

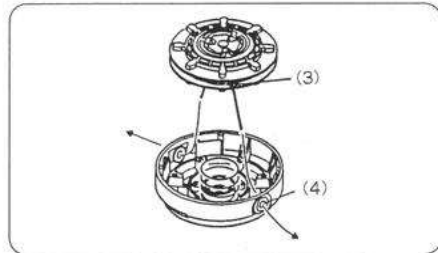


図3



図4

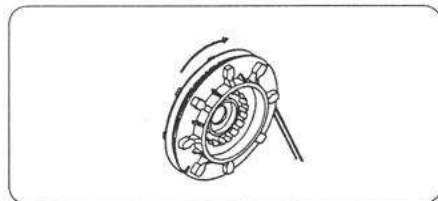


図5

本機の組立て

④ナイロンコードは上下のリール溝に並列に巻き込み、ナイロンコードの先端を約10cm残してナイロンコードリール側板のコードを引っ掛け溝(3)に止めます。(図6)

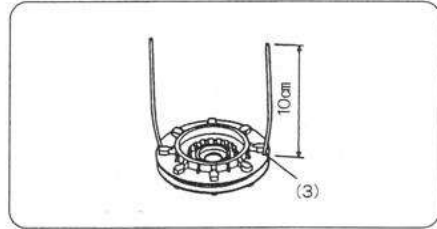


図6

⑤コードの先端をナイロンコードボデーのナイロンコートガイド(4)の穴に通し、ナイロンコードリールをナイロンボデーにセットします。セット位置はナイロンコードリール側板のコード引っ掛け部分(3)がコード出口に来る位置にします。(図3)

⑥次にナイロンコードを引っ張り、側板の引っ掛け溝よりコードをはずします。コードの出寸法はコードの出口より約10cmです。切断するか、ナイロンコードリールを回して出寸法を調整してください。(図7)

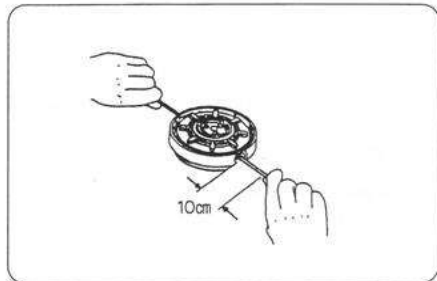


図7

この際、ナイロンコードがナイロンコードリールの下側に入り込んでいないことを確認してください。

⑦ナイロンコードキャップをナイロンコートボデーの爪穴位置に合わせてパチンと音がするまで押し込みます。(図8)

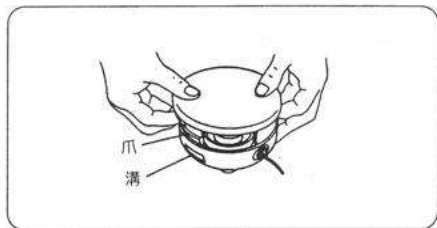


図8

キャップの爪が完全にナイロンコートボデーにセットされたか確認してください。

⑧セットが確認されましたらナイロンコードを引っ張りコード出寸法がコード出口より約10cmのところ切断してください。(図9)

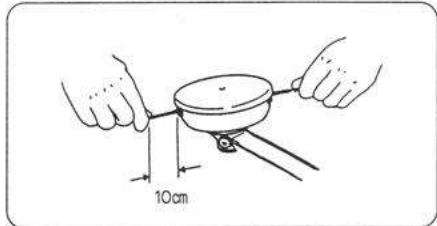


図9

燃料の準備

1 燃料の準備

①燃料は潤滑油混合ガソリン25:1（ガソリン:2
サイクル専用オイル）を使用してください。

注意 ガソリンだけで絶対に運転しないでください。
エンジンが焼き付きます。



★燃料給油中はタバコを吸ったり、
その他の火気を絶対に近づけてはいけません。
火災またはやけどの原因となります。
(図1)

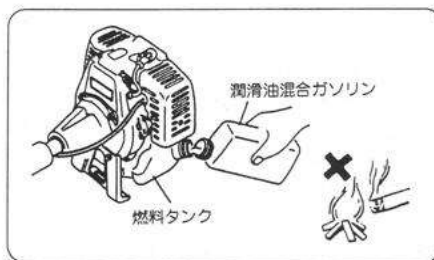


図1

②別容器で良く混ぜてから燃料タンクに入れてください。



★補給中に燃料をこぼした時は良く拭き取ってください。

注意 燃料は必要以上に混合しないで、作業に必要な量をその都度準備してください。
長期間保管した混合燃料を使用しますと、故障の原因となります。

保守・点検・整備

1 気化器

- ①気化器の調整は、工場出荷時に済んでおりますので、なるべくさわらないでください。
- ②アイドル回転が高すぎる時（刈刃が回っている時）または低すぎる時（エンジンが停止する時）は、アイドル調整ネジで調整してください。（右回りでアイドル回転が高くなり、左回りで低くなります）（図1）

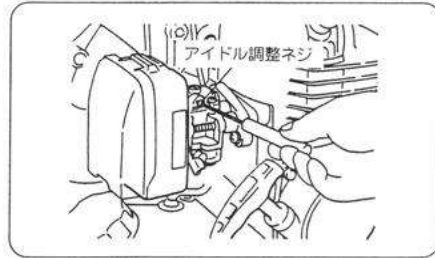


図1

2 エアークリーナー（図2）

- ①クリーナースポンジが汚れ、目づまり状態になると出力低下や始動困難になります。クリーナースポンジは時々掃除し、汚れを落として目詰まりを防いでください。
- ②クリーナースポンジを掃除する時は、ガソリンで洗ってかたくしぼり乾燥させてから取り付けてください。

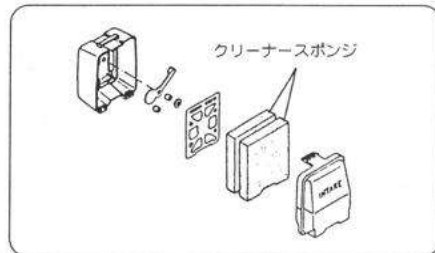


図2

3 燃料フィルター（図3）

- ①燃料フィルターがつかまるとガソリンが上がらずエンジンの回転不調の原因となります。時々点検してください。
- ②汚れている時は、針金などで燃料給油口から引き出してガソリンで良く洗ってください。（汚れのひどい時は交換してください）

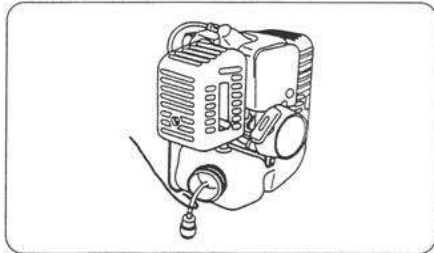


図3

4 マフラー（図4）

- ①長時間運転しますと、シリンダーの排気孔、マフラーの入り口内部、出口にカーボンが付着し出力低下の原因になります。時々掃除してください。但し、シリンダー排気孔を掃除する時は、ピストンやシリンダーに傷を付けないように、又クランクケース内にカーボンが入らないように特に注意してください。

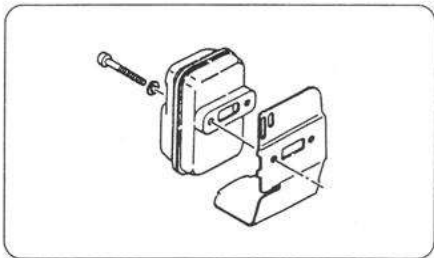


図4

保管の方法

- ①各部を十分に清掃し金属部には発錆防止のため2サイクル専用オイルを薄く塗ってください。
- ②長期間（3週間以上）保管するときは、燃料タンクから燃料を抜き取ってから自然に停止するまで空運転し、気化器の中の燃料を完全になくしておきます。
- ③点火プラグを外し、プラグの穴から少量の2サイクル専用オイルをシリンダーに流し込み、スタートボタンを1～2秒押しオイルが行き渡るようにしてください。
点火プラグを元通りに取り付けてください。
- ④損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納してください。
- ⑤ホコリ、湿気のない乾燥した、又温度が50℃以上にならない場所に保管してください。
- ⑥子供の手の届かない安全な場所に格納してください。
- ⑦燃料は屋内の火気の心配のない、冷たい乾いたところに、安全な容器に入れて保管してください。
古くなった燃料は故障の原因となりますので使用しないでください。

主要諸元

本 機	名称・形式		PK-35S
	寸 法	全 長 mm	1200
		全 幅 mm	530
		全 高 mm	900
	乾 燥 重 量 kg	13.5	
	作 業 幅 mm	400	
	走 行	手押式	
エ ン ジ ン	名 称		空冷2サイクルエンジン
	型 式		TC-35MS
	排 気 量 CC		34
	燃 料 タ ン ク ℓ		1.0
	キャブレタ		ダイヤフラム型
	始 動 方 式		リコイルスタータ方式
	点 火 プ ラ グ		NGK BM7A
	使 用 燃 料		ガソリン：2サイクル専用オイル（25：1）

工具及び付属品

部 品 番 号	部 品 名	個 数
111 1530 001	コウダブクロ	1
9TL 1001 300	スパナ 10×13	1
9TL 0801 000	スパナ 8×10	1
G86 1454 000	トリアツカイセツメイショ	1
813 20000 20	4ロッククボウスパナ	1
829 20000 80	13×19 コンビボックス プラス	1
541 37590 20	ホゴメガネ	1